

監督官だより

国土交通省
東北地方整備局
新庄河川事務所
建設監督官

平成26年9月

砂防事業と地域の暮らしを知る地域体験を実施

～「キャンプ砂防2014in月山」に全国から5名の学生が参加～

平成26年9月1日(月)～5日(金)

砂防を専攻する大学生等を対象に砂防関係事務所等における就業体験や中山間地域での生活体験を通じて砂防関係事業に対する理解を深め、参加学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成及び土砂災害防止意識の向上を目的として平成8年度から「キャンプ砂防」として実施されています。平成25年度までに全国で延べ約1,800名の学生が参加しているところです。今年度は、全国30箇所あまりの直轄砂防関係事務所で実施が予定され、東北では新庄河川事務所だけで実施され全国より大学3年生から大学院1年生までの5名の学生が参加されました。

■主なカリキュラム

- 1日目 開校式、現場体験(肘折土砂崩落)
- 2日目 現場体験(濁沢池ノ台地区)・対談、地域学習(立谷沢川流域)
- 3日目 空中調査(立谷沢川・銅山川他流域)、地域体験(炭焼き窯づくり)
- 4日目 首長講話(戸沢村長)、現場体験(豊牧地すべり)、地域体験(畑作業)、講義・対談(コンサルタント会社)
- 5日目 講義、意見交換会、閉校式



参加学生 5名

- ・群馬大学大学院 理工学部 2年
- ・信州大学大学院 農学部 1年
- ・鹿児島大学 農学部 4年
- ・日本大学 理工学部 3年
- ・日本大学 理工学部 3年



砂防資料館にて出張所長より砂防全般について説明を受ける。



銅山川流域肘折護岸工事現場にて護岸の現場打擁壁工の施工を間近で見学。



出張所長より平成23年に濁沢池の台地区で発生した大規模な深層崩壊の説明を受ける。



出羽三山歴史博物館の学芸員より立谷沢川の歴史と文化について学習。



ヘリコプターに乗り上空から砂防流域の現状と整備箇所を視察調査。



レーザー測距儀で計測技術を体験。



工事現場では作業員からの説明を受け、かごマットの詰石作業を体験。



戸沢村地域おこし協力隊と昼食を交えながら交流。



戸沢村が抱える課題や防災体制について村長他と意見交換。



戸沢村角川地区の方々と一緒に炭焼きの窯づくりを体験。



戸沢村角川でレタス等の苗植えを実施し、地域体験。



最終日に参加学生から成果や感想等を発表してもらい職員と意見交換。



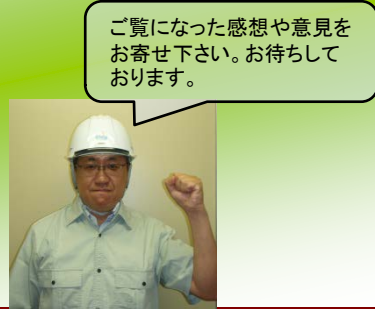
4日間滞在したホームステイ「農家民宿ほたる(戸沢村角川)」にて

■参加したキャンプ生の声

- ・参加しなければ経験できないような**貴重な体験をいくつもさせていただいた。**
- ・自然災害に対して**今後どのように対策していくべきなのか考えさせられる経験**になった。
- ・**地元の方々**と触れ合えたのもとても**良い機会**だった。
- ・砂防事業を行うためには、**その地域の人々の暮らしを理解する必要**もあると感じた。
- ・新庄や庄内地方、戸沢村の**温かい方々と交流**ができ、**またこの地を訪れたいという気持ち**になった。
- ・この経験を**これからの就活等に何らかの形で活かしていければいい**と思う。
- ・将来は公務員になりたい目標があったが、**事務所、出張所**でどのような事を行っているのか**知ることができた。**
- ・**実際に現場を見学しながら学べたのは今後必ず役立つもの**になると感じた。
- ・普段できない体験と**その地域の歴史と文化、災害、砂防の関連性**を学ぶことで**人の命と財産を守ることを再認識**した。
- ・崩壊跡地や対策工事現場見学は、**本当に興味が止まらず、メカニズムや地質**などについて**大学に戻って調べてみたい。**
- ・記憶に残っているカリキュラムは**空中調査**で、**改めて自分たちが相手をする山々の大きさ**を知った。
- ・戸沢村役場の方々や**地域の人々がどういった考え**を持ち、**暮らしているのかも知ることができた。**

■お問い合わせ

〒996-0071 山形県新庄市小田島町5-55
 TEL 0233-22-0256 FAX 0233-23-7350
 国土交通省 東北地方整備局
 新庄河川事務所 工務第二課 建設監督官
 HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>



ご覧になった感想や意見をお寄せ下さい。お待ちしております。